

農業委員会委員の推薦及び応募状況(令和8年2月2日～3月2日)

氏名	年齢	性別	職業	経歴	認定 農業者等	農業経営 の状況	推薦又は応募の理由	推薦者			
								名称 代表者又は 管理人の氏名	目的	構成員 数	構成員たる 資格
吉田 俊之	73	男	農業	H20.7.20 ~ H23.7.19 吹田市農業委員会委員 H26.7.20 ~ 現在 吹田市農業委員会委員 H29.7.20 ~ 現在 吹田市農業委員会会長 H20.4.1 ~ 現在 山ノ谷実行組合会長 H29.6.27 ~ 現在 北大阪農業協同組合理事	○	水稻 露地野菜 耕作面積 40.0 ㌦	地域農業(農地)を継続維持する為に日々努力し、地域の子供達へはレンゲ摘み、田植え、稲刈りで農業の大切さを啓発している。また、旬の露地野菜を販売し農業への理解、醸成に努めている。	山ノ谷実行組合 吉田 俊之	農業支援	29 人	地区内の農家でJAの正組員
橋本 家平	66	男	会社役員及び農業	H21.7.1 ~ 現在 (株)寿 代表取締役 R2.7.20 ~ 現在 吹田市農業委員会委員 R7.4.1 ~ 現在 釈迦ヶ池土地改良区副理事長	-	水稻 耕作面積 12.3 ㌦	被推薦者はこれまでの職歴、農業経験から農業に関する諸見を有し地域農家情報に精通しており、実直な人柄と合わせ、地域の信頼も厚い。よって農業委員として農業委員業務に大きく貢献できる人材であり推薦する。	岸部東実行組合 岸本 幹彦	組合員の経済的・社会的向上と、地域の連携	60 人	地域内農家で農協の正組員及び准組員
田口 末次	62	男	自営及び農業	H26.7.20 ~ 現在 吹田市農業委員会委員 H30.6.26 ~ 現在 北大阪農業協同組合理事	○	水稻 露地野菜 果樹 花き 筍 耕作面積 63.8 ㌦	地域の農業発展に活動し、農業にこだわり農業を経営しています。	山田下実行組合 山辺 重和	組合員の社会的地位向上と地域の連携	64 人	地域内農家で農協の正組員及び准組員
野中 清和	67	男	会社員及び農業	R1.12.1 ~ 現在 民生児童委員(会計) H29.4.1 ~ 現在 農民組合組員(春日支部) H13 ~ 現在 北大阪農業協同組合営農部会 H8 ~ R1 吹田市消防団員(春日班部長)	-	水稻 筍 耕作面積 64.3 ㌦	春日地区で代々続く農業者であり、所有の田畑での仕事ぶりや地元組織への協力も力強いことから信望も厚く、吹田市の都市農業継続、発展に活躍を期待し推薦するものです。	春日町実行組合 野本 昭隆	地域営農活動の円滑な運営を図り、農業協同組合組織の育成強化と農業行政への協力に寄与すること	66 人	地区内農家で農協の正組員及び准組員
北村 康裕	63	男	行政書士	H28.4.15 ~ 現在 行政書士北村法務事務所	-	-	私は行政書士として農地に関する各種申請手続きに関与しており、農業委員会業務にもその知識・経験を活かせると考えております。また、農業者以外の中立・公正な視点・立場で農地集積による効率化・生産性向上や耕作放棄地の防止・解消等につき助言・検討することで農業委員会に参画し、吹田市の農地行政推進に寄与したいと考えております。以上の理由から今回農業委員に応募することといたしました。	応募			

農業委員会委員の推薦及び応募状況(令和8年2月2日～3月2日)

氏名	年齢	性別	職業	経歴	認定 農業者等	農業経営 の状況	推薦又は応募の理由	推薦者			
								名称 代表者又は 管理人の氏名	目的	構成員 数	構成員たる 資格
樋口 明彦	61	男	自営及び農業	R5.6.1 ~ 現在 北大阪農業協同組合監事 R5.4.1 ~ 現在 江坂水利、江坂蔵人水利組合	-	水稲 耕作面積 19.0 ㌥	稲作を中心とした農業をしておられ、長年農業組織の役員をしておられ近年は農業協同組合の監事としてご活躍されている方です。	江坂実行組合 寺辻 啓介	組合員の社会的地位向上と地域の連携	62 人	吹田市に在住し3アール以上の農地を有する者
西 盛	78	男	自営及び農業	H20.6.26 ~ H29.6.26 北大阪農業協同組合理事 H29.7.20 ~ 現在 吹田市農業委員会委員 H20.4.1 ~ R3.3.31 佐井寺地区連合自治会長	○	水稲 露地野菜 果樹 耕作面積 71.6 ㌥	長年にわたり、吹田市が実施する学童農園に協力しており、農業委員としても3期努められ、地域の農業の発展に貢献されています。今後も地域の農業普及・啓発活動に尽力されると思い推薦します。	佐井寺実行組合 西 盛	組合員の信頼及び農業発展と地域との連携	29 人	10a以上の農家で農業関係の事業に関する者又は協力する者
川上 光男	70	男	団体役員	R2.7.20 ~ 現在 吹田市農業委員会委員 H29.6.27 ~ R5.2.23 北大阪農業協同組合理事 R5.2.24 ~ 現在 北大阪農業協同組合代表理事組合長	○	水稲 耕作面積 20.0 ㌥	稲作をしつつ北大阪農協の理事を9年間、内代表理事組合長を3年間務められ、金融、経済にも精通し、特に食農教育にも力を入れ、学童農園の農地提供もされ小学生に熱心に説明指導されています。人望も厚く委員に最適です。	山田中実行組合 奥田 善孝	組合員の経済的、社会的地位向上と地域の連携	23 人	地域内農家で農協の正組合員及び准組合員
島中 秀樹	75	男	会社役員及び農業	H19.6.24 ~ H27.10 北大阪農業協同組合理事 H29.7.20 ~ 現在 吹田市農業委員会委員	-	露地野菜 果樹 耕作面積 34.9 ㌥	地域農業の更なる振興と普及に努め農業分野に精通され卓越した知識と豊富な経験を生かし今後の農政に大きく貢献して頂けるものと確信致しております。	山田上地区実行組合 西川 俊郎	地域との連携	70 人	地区内農家で農協の正組合員及び准組合員

農業委員会委員の推薦及び応募状況(令和8年2月2日～3月2日)

氏名	年齢	性別	職業	経歴	認定 農業者等	農業経営 の状況	推薦又は応募の理由	推薦者			
								名称 代表者又は 管理人の氏名	目的	構成員 数	構成員たる 資格
水田 和真	45	男	団体職員	H19.4.1 ~ 現在 (一財)関西環境管理技術センター R2.7.1 ~ R4.6.30 吹田市環境審議会市民委員 R5.7.20 ~ 現在 吹田市農業委員会委員 中立委員	-	-	一期目は全域市街化区域の本市において、中立委員として公平・公正な判断に努めてまいりました。活動を通じて、都市農地が貴重な「社会的資産」であると確信した一方、農地管理の透明性向上と客観的な判断基準の確立こそが市民の信頼獲得の鍵であると痛感しております。2期目においては、タブレット活用等のDX推進により農地調査等の業務を効率化し、事務負担を軽減します。また、女性や若手が参画しやすい「持続可能な組織」の基盤を構築いたします。具体的には、立地特性を活かした「学童農園」の推進により、将来の農業理解者を育成します。さらに都市農地の点在・小規模化特性に即したアシストスーツ等の「身の丈に合った軽労化技術」の導入を支援。大阪農業つなぐセンター等との連携を通じて、夏場の熱中症対策や担い手不足の解消を図ります。前例踏襲を排し、吹田市の農と住と教育が調和した持続可能な都市農業の構築に、全力を尽くす所存です。		応募		
川端 順子	49	女	自営業及び農業		-	水稲 耕作面積 14.9 ㌦	兼業農家で水稲を作られており、田植え、収穫時にはご夫婦と子供達総出で農作業に従事されていますが、田んぼの水の管理、肥料の散布、畔の草刈り等日常の農作業は、ご本人が子供さんにも指導しながら担当され農地を守っておられます。このような観点から農業委員としての資質を十分に備えられておられると考え推薦いたします。	吹田市岸部南実行組合 安本 修	組合員の農地の保全と継承、地域農家との連携	7人	地域に農地を有する者
榎原 靖彦	68	男	農業	H30.4.1 ~ 現在 吹田土地改良区理事 R5.7.1 ~ 現在 吹田市農業委員会委員	○	水稲 露地野菜 果樹 耕作面積 21.0 ㌦	長年にわたり蔵人実行組合の副組合長・会計、江坂蔵人水利組合副組合長、吹田土地改良区会計担当理事を務め、自らも稲作、畑作に励んでおられます。農業委員としての職務に精通して頂けるものと確信いたします。併せて蔵人実行組合の役員会・理事会にて満場一致の推薦を得ております。	蔵人実行組合 滝川 邦和	組合員の経済力、社会的地位の向上と地域の連携	56人	農業関係の事業に関する者又は協力する者
角田 和子	64	女	農業・会社役員	H26.7.20 ~ 現在 吹田市農業委員会委員 H29.7.20 ~ 現在 吹田市農業委員会副会長 H29.6.27 ~ 現在 北大阪農業協同組合理事 H19.12.1 ~ 現在 民生児童福祉委員	○	水稲 露地野菜 果樹 花き 耕作面積 40.0 ㌦	当地区において農業をされ、又地域活動にも積極的に参加される人物であること。	垂水実行組合 松田 宜夫	組合員の経済的・社会的地位の発展	34人	本組合地区で平成元年1月1日現在27㌦以上耕作していた者

農業委員会委員の推薦及び応募状況(令和8年2月2日～3月2日)

氏名	年齢	性別	職業	経歴	認定 農業者 等	農業経営 の状況	推薦又は応募の理由	推薦者			
								名称 代表者又は 管理人の氏名	目的	構成員 数	構成員たる 資格
佐藤 愛子	62	女	主婦		-	-	退職後あらためて近隣を見たとき、ほとんど田畑が残っていないことに気づき、強く寂寥感を覚えました。吹田市に農地が残っていてほしいと思います。吹田市は大学の街という特色があります。その特色を活かし例えば「市街地での持続可能な農地のある社会」等の研究に市が補助金事業を行ったり、教育学があるような大学と体験農業の契約を結んだりしながら吹田市民を巻き込んで関心を持ってもらう。このようなアプローチで農地の転用が減らせるのであれば、大学に15年以上勤務経験がある私も役立つことができるのではないかと思います。吹田市は人気の住宅街らしいので、その中で農業を営むことはきっと大変なことも多いのだろうと思います。ただ、使われていない土地もあまりなさそうですし、私も農地を持っていません。だから今ある農地がなくならないよう個人では厳しいことをピックアップして、市全体で応援できるような街を作っていくことに参加できればうれしいです。		応募		
野本 昭隆	72	男	農業及び会社役員	H26.7.20 ~ R2.7.19 吹田市農業委員会委員 R5.6.23 ~ 現在 北大阪農業協同組合理事 H21.4.1 ~ 現在 春日町第2実行組合長 R1.7 ~ 現在 春日町実行組合代表組合長	○	水稲 露地野菜 果樹 耕作面積 195.0 ㌦	長年に亘り、吹田市農業委員、当農協の理事を務めてこられ、地域の農業の現状を熟知されおり、都市農業の発展に有益な助言をしていただけるものと思料されます。自らも農業を営み学童農園の指導もされており、吹田市の農業の発展のために吹田市農業委員会および当農協と連携し、地域農業の振興と発展のために尽くしていただける方として推奨いたします。	北大阪農業協同組合 川上 光男	地域農業の振興と組合員の利益に資すること	5,363 人	正組合員5a以上の土地を耕作する農業を営む個人であって、その住所又はその経営に係る土地又は施設がこの組合の地区内にあるもの。他
野中 数博	63	男	自営業及び農業	R7.4.1 ~ 現在 地域交通安全活動推進委員 R1.4.1 ~ 現在 春日町実行組合	-	水稲 耕作面積 16.0 ㌦	春日地区で代々続く農業者であり、所有の田畑での仕事ぶりや地元組織への協力も力強いことから信望も厚く、吹田市の都市農業継続、発展に活躍を期待し推薦するものです。	春日町実行組合 野本 昭隆	地域営農活動の円滑な運営を図り、農業協同組合組織の育成強化と農業行政への協力に寄与することを目的とする。	66 人	地区内農家で農協の正組合員及び准組合員

農業委員会委員の推薦及び応募状況(令和8年2月2日～3月2日)

氏名	年齢	性別	職業	経歴	認定 農業者 等	農業経営 の状況	推薦又は応募の理由	推薦者			
								名称 代表者又は 管理人の氏名	目的	構成員 数	構成員たる 資格
藤木 栄亮	57	男	吹田市議会議員	H19.5.27 ～ 現在 吹田市議会議員 H29.6.5 ～ H30.6.7 第72代吹田市議会議員 H21.6.3 ～ R5.7.19 吹田市農業委員会委員 (平成21年から 計7期 9年)	-	-	私は、平成21年より通算9年間、吹田市農業委員会委員を務めてまいりました。この間、都市化の進行による農地減少や、担い手の高齢化といった本市農業が直面する課題を現場で深く実感してまいりました。農業協同組合法等の一部を改正する等の法律が平成27年8月に成立したことにより、農業委員会等に関する法律の改正が行われ、農業委員会の業務の重点は、「農地等の利用の最適化の推進」であることを明確化されました。私は、当該法改正の前後で農業委員会委員を経験しております。また私の仕事柄、改革の趣旨も把握しております。今回の応募にあたり、私は、これまでの経験で培った「地域農業の現状把握力」と「課題解決のネットワーク」を活かし、次世代へ繋ぐ架け橋になりたいと考えています。現在、委員会では女性や若手の登用が推進されています。新たな視点を持つ方々が活動しやすい環境を整えるとともに、法的な専門知識や地域の実情に基づいた的確な助言を行い、円滑な合意形成を支えることが私の使命です。老若男女問わず多様な人材を求めている市の方針にも合致すると考えます。抱負として、遊休農地の発生防止や都市農業の多面的機能の維持に尽力し、市民に親しまれる吹田の農業を守り抜く決意です。経験に裏打ちされた安定感と、時代の変化に柔軟に対応する姿勢を持ち、本市農業の持続的な発展に貢献いたします。		応募		
奥 祐次	72	男	農業・会社役員	H26.7.20 ～ 現在 吹田市農業委員会委員 H26.6 ～ 現在 佐井寺実行組合第4組組長 H11.4.1 ～ 現在 佐井寺伊射奈岐神社総代責任役	○	露地野菜 果樹 耕作面積 50.0 ㎡	地域の農業の発展に貢献されています。今後も地域の農業普及啓発活動に尽力されると思い推薦します。	佐井寺実行組合 西 盛	組合員の信頼及び農業発展と地域の連携	29 人	10a以上の農家で農業関係の事業に関する者又は協力する者
村上 祐子	44	女	パート(介護職)	H16.4.1 ～ H19.6.30 株式会社アイデン企画(正社員) H20.2.1 ～ H22.4.25 Piyavate International Hospital H22.5.1 ～ H24.1.20 有限会社エイライン(正社員) R2 ～ 現在 特別養護老人ホーム 青藍荘 介護職員(パート)	-	-	安心しておいしく食べられる野菜を自分で作れるようになりたいと思い昨年吹田市の畑で農盛倶楽部の仲間と一緒に野菜作りに取り組んでいます。普段は介護の仕事の傍ら、我が子が通う小学校で放課後、校庭で遊ぶ児童の見守りボランティアもしています。日本の食料自給率の低さや世界情勢、気候変動などによる食料危機の話題を目や耳にすることが多い昨今、子どもたちの将来が明るいものであることを願っていますが、そのために私ができる小さな一歩として、吹田市の農地を守る取り組みのほか、農業の大切さや自らお米や野菜作りに関わることで得られる楽しさ、素晴らしい経験を子どもたちに伝えるお手伝いをできたらと思い応募させていただきました。また、私自身も将来もっと農業に関わっていきたくて考えておりますので、この活動を通して様々な知見を得ていきたくと思っています。		応募		

農業委員会委員の推薦及び応募状況(令和8年2月2日～3月2日)

氏名	年齢	性別	職業	経歴	認定 農業者等	農業経営 の状況	推薦又は応募の理由	推薦者			
								名称 代表者又は 管理人の氏名	目的	構成員 数	構成員たる 資格
赤堀 順一	39	男	Webマーケティング	H28.4.1 ~ H31.3.31 株式会社nanairo /ゼネラルマネジャー H31.4.1 ~ R4.9.30 株式会社i-plug/グループマネジャー R4.10.4 ~ 現在 株式会社Paddle/代表取締役社長	-	-	吹田市は全域市街化区域であり、限りある農地は年々減少しています。しかし都市部における農地は、作物を生産する場にとどまらず、市民が土に触れ、自然の営みを感じ、豊かな暮らしを育むための、地域にとってかけがえのない資産だと考えています。同時に、都市農地の存在意義をより多くの市民に届ける必要性を感じています。農業委員として、自身が運営する地域メディアの発信力と運用ノウハウを活かし、学童農園(5月・10月)の取組をわかりやすく周知するとともに、「吹田市の野菜情報」等を目的として新たにSNSを開設し、農業者や飲食店とも連携しながら、吹田の農ある暮らしの魅力を発信します。あわせて旬の野菜や地産地消の取組を取り上げ、消費者・生産者・飲食店をつなぐ機会づくりに努めます。これらの投稿は月1回程度、無償で行い、内容は農業委員会総会で確認の上、正確性と公共性を担保します。農への関心を高めることで、吹田市の農地保全に貢献してまいります。		応募		
高野 尚子	50	女	学生(2026年3月卒業予定)	R7年4月 ~ 現在 農盛倶楽部 R6年3月 ~ 現在 旧中西家住宅におけるガイドボランティア	-	-	私は現在、旧中西家住宅(登録有形文化財)のガイドボランティアや農盛倶楽部で活動しております。地域の歴史や農について学びながら、未熟ではありますが、将来に向けて地域で少しでも役立つ力を身につけたいという思いで取り組んでおります。現在は通信制大学で環境デザインを学び、今春卒業予定です。造園史や自然環境について学ぶ中で、日本文化は農を大切にする精神に支えられてきたことを実感いたしました。将来は、農業の魅力を伝えられるランドスケープデザイナーとして、地域に貢献できればと考えております。近年、都市農地は減少傾向にありますが、コロナ禍以降、都市農業への関心が高まり、地産地消の価値を改めて見直されていると感じております。ボランティア活動を通じて、自然や農の価値を大切に市民の方々に会うことも多く、その将来性を実感しております。また、Society5.0時代における農業の発展のあり方にも強い関心を抱いております。このような背景から、まずは本市の農業に関わる活動に携わらせていただきたく、応募いたしました。なお、学生になる前はIT業界で20年以上勤務しておりました。必要な場面がございましたら、デジタル分野でもお力添えできれば幸いです。趣味は風景画を描くことです。どうぞよろしく願いいたします。		応募		
吉田 有希	49	女	講師業	H12.4.1 ~ H24.8.31 株式会社小松印刷 制作部 H25.4.1 ~ 現在 自力整体教室 R6.3.1 ~ 現在 農盛倶楽部	-	-	私は、誰もが農業を体験できる機会の窓口を広げたいと考え農業委員会に応募いたしました。食料自給率が低下する現代において、自ら作物を育てられるという実感は、地域の安心と主体性を育む力になると感じています。日常生活では見えにくいとれたての野菜の生命力や本来備わっている香りや栄養といった価値は、流通の過程で削られがちです。私はそれらを”体験”として伝え、価値あるものとして再認識してもらえる場を作りたいと考えています。また、農業従事者が減少する中、吹田で活躍されている農家の方々と市民をつなぎ、学び合い、支え合う関係を育てることが持続可能な地域農業の力になると信じています。地域に根ざした実践を通じて、次世代へ農の魅力をつなぐ一助として力になりたいです。		応募		

農業委員会委員の推薦及び応募状況(令和8年2月2日～3月2日)

氏名	年齢	性別	職業	経歴	認定 農業者 等	農業経営 の状況	推薦又は応募の理由	推薦者			
								名称 代表者又は 管理人の氏名	目的	構成員 数	構成員たる 資格
安達 真也	45	男	会社員	H19.6.1 ~ H22.7.31 東京海上日動火災保険(株) H22.8.1 ~ 現在 (有)フロムザハート 令和2年7月1日より同代表取締役 R6.1.1 ~ 現在 (株)KRC大阪北支社 支社長	-	-	私は農作に興味があり、昨年から農盛倶楽部の活動に参加しています。畑の世話をしたり地域の子どもたちに農業体験をしてもらったり、収穫物の販売をしたりする中で、もっと地域に貢献できることはないかという気持ちが出てきました。また、息子がお世話になっているボーイスカウト吹田9団の副長として、令和7年度は娘がお世話になっている高野台中学校のPTA副会長として、地域の子どもたちと関わる機会が多く、彼らが地元で愛着が持てるような活動をしていきたいと思う気持ちがあります。自身が興味のある農業を通じて、地域の子どもたちの知育や体験に関わりたい、そのためにもっと農業に関する経験・知識を増やしていきたいと考えています。その過程で地域にも貢献できる活動として、吹田市農業委員会委員のお仕事に挑戦することは私にとって意義のあることだと感じ、この度応募させていただいた次第です。		応募		